

5 月園内研修

令和6年5月25日(土)

BCP 松の実こども園業務継続計画書(案)について

◎研修目的

・松の実こども園は、子どもの生命及び心身の安全等を支えるところを最優先とした保育施設として、子どもたちの育成及び地域貢献の取り組みを進めています。近年頻発する自然災害などの危機にも適切な対応、業務の継続を推し進めることが非常に重要となる。災害対策や感染症対策に目配りし、職員や保護者とともに子ども達の安全を確保し業務を継続する体勢及び機能を整える事を目的とする。

◎研修内容

- ・松の実こども園業務継続計画書(案)についての読み合わせ
- ・職員間での共通理解を深める
- ・自然災害時の対応や対策について意見交換を行う

【学び】

- ・自然災害時の園での対応等をイメージすることで、何が不足なのか考える事ができた。備蓄に関する話し合いも職員間で共有出来たので良かった。
 - ・さすまたの使用方法や不審者対応についても今後学んでいきたい。
 - ・今まで自然災害をあまり体験したことがないため何が必要なのかどれくらいの量を確保しないといけないかなど考えたことがなかったが、災害が増えるようになり、考えるいいきっかけとなった。
 - ・あらゆる災害と隣り合わせで生活していく中で、災害や防犯に対しての予測や対策を考えることが出来た。今後は、実行できるように日々、危機感を持ち対応できるようにしたい。
 - ・自然災害が発生した場合にしっかりと動けるか不安になるので避難訓練の振り返りを全職員に共有してほしいと思う。
 - ・自然災害の体験があまりない為、保存食や備蓄品がどれだけ必要なのか想定することがあまり無かったが、今回の研修で改めて考える事ができた。園で必要な保存食、備蓄品を皆で話し合い共有することが出来て良かった。園外保育中の災害、事故などの対応も確認出来て良かった。
 - ・今日はBCPの読み合わせをして良かった。分からない部分も質問できました。
- 震度6の地震が来ることを想定すると、怖いのが、周囲の人に助けを呼ぶことが大切など学びました。備品の確保は緊急時に備えて、とても大切で、みんなで考えて用意していきたいと思いました。いろんな災害を想定しながら、資料に目を通して、緊急時に備えられるように

していきたい。

・園内研修で、園でのマニュアルを再度確認することが出来ました。自然災害での待機を前提とし、備えておくことが大切だと改めて思いました。園で3日間を過ごすことを予測しながら動けるようにしていきたい。

・防災組織の体策を再確認することで、保護者、地域の連携や安否の確認、職員と連携をとり安全確認、備蓄品もこれから備えて意識を持って取り組むようにしていきたいと思しました。

・災害についての園内研修に参加できていなかったのが、今回資料の読み合わせをしながら一つずつ確認できたのでよかった。実際災害などイレギュラーな事がおきたら際、迅速な対応できるよう備えなどしっかりしていきたいと思う。

・BCP の読み合わせをして、再確認したり意識していかないといけないと感じた。備蓄するにも3日間でどのくらい何が必要で、保管場所を確保したりと備えていかないといけない。実際起きたことを想定していけるようにしていきたい。

・災害について対処法を予測し考えることで、いざと言う時にどう対応するか迅速に動けるので勉強になった。予測した行動を意識していきたいと思った。

・BCP について読み合わせをし、自分が理解していないことが多々あったのでよかった。研修資料を自分でも読み返せるようにしたい。これを機にいざという時に迅速な対応が出来るように避難訓練の時から意識して取り組むようにする。

令和6年度 5月園内研修



松の実こども園業務継続計画（案）について読み合わせ



職員間で共通理解を深める



自然災害時の対応や対策について意見交換を行う

◎松の実こども園業務継続計画(案)について
期日（令和6年5月25日(土)9:00~12:00）
・事業継続計画(案)の読み合わせ、
共通理解を深め、意見交換を行う。

